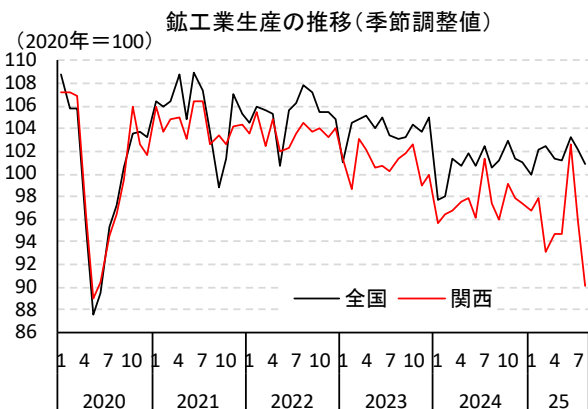
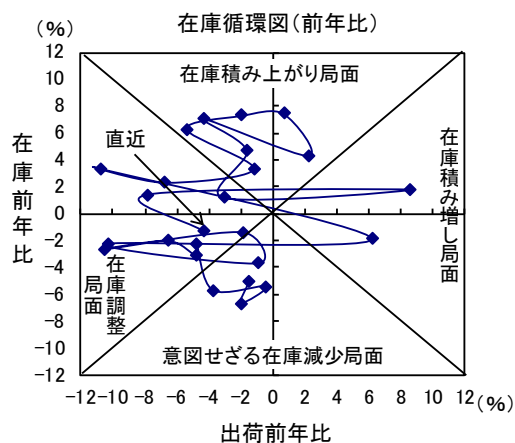
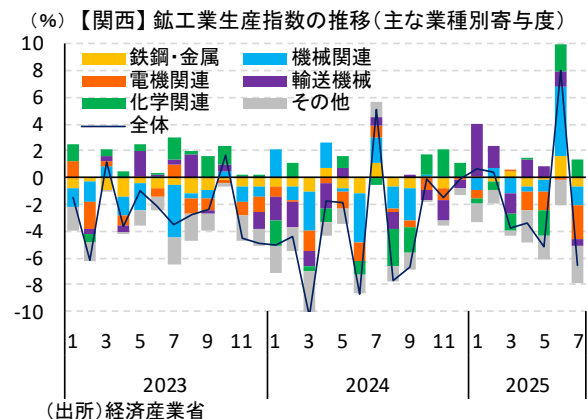
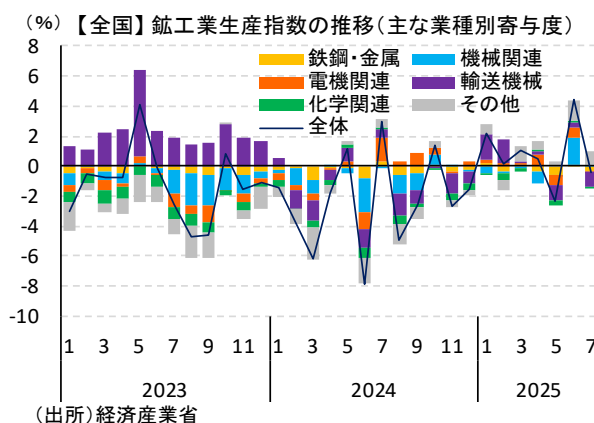


関西の景気トピックス【鉱工業指数（25 年 8 月）】

- 25 年 8 月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の確報データによると、生産（原数値）は前年比で 9.1%減と、2 か月連続の減少となった。業種別には半導体製造装置を中心とした機械関連が減少したほか、電子部品、電池などの電機関連も大きく減少し、全体を押し下げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、今月も前月と同様、景気が悪いサインとされる「積み上がった在庫を調整するため、出荷を減らす」在庫調整局面となり、今後の推移が注目される。
- 直近の関西の生産動向で注目されるのは、全体的な水準の低さであろう。23 年頃から全国との乖離が目立ち始め、今年 6 月に一時的な増加がみられたものの、その後は大きく落ち込む形となっている。トランプ関税等の影響で外需も停滞気味であるだけに、今後の回復期待も薄く、先行きが懸念される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。